

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪行岡医療専門学校長柄校
設置者名	学校法人行岡保健衛生学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	放射線科	夜・通信	1,935 時間	240 時間	
	臨床検査科	夜・通信	2,175 時間	240 時間	
	鍼灸科	夜・通信	2,575 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載 https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪行岡医療専門学校長柄校
設置者名	学校法人行岡保健衛生学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載
<https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人 理事長 (1990. 6. 1～現在)	2023. 10. 27 ～ 2027. 10. 26	円滑な運営の促進
非常勤	弁護士 (1981. 4. 1～現在)	2023. 10. 27 ～ 2027. 10. 26	法律的な立場からの 助言・指導
(備考)			

設置者の理事名（役員）名簿（令和6年5月現在）

種別	常勤・非常勤の別	氏名	任期	学外者
理事	常勤	行岡 正雄	2023.10.27～ 2027.10.26	
理事	常勤	行岡 久美子	2023.10.27～ 2027.10.26	
理事	常勤	大澤 傑	2023.10.27～ 2027.10.26	
理事	非常勤	松下 尚司	2023.10.27～ 2027.10.26	
理事	非常勤	速水 泰彦	2023.10.27～ 2027.10.26	○
理事	非常勤	三木 秀夫	2023.10.27～ 2027.10.26	○
理事	非常勤	鹿島 洋一	2023.10.27～ 2027.10.26	○
理事	常勤	松田 雄二	2023.10.27～ 2027.10.26	
監事	非常勤	吉永 徳好	2023.10.27～ 2027.10.26	○
監事	非常勤	藤田 喜枝	2023.10.27～ 2027.10.26	○

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪行岡医療専門学校長柄校
設置者名	学校法人行岡保健衛生学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
●放射線科 学則・内規・教科内容に成績評価の内容等を記載している。 ●臨床検査科 授業計画は、授業に関わる教員が方法・内容等を記載し、科目を修得することにより、臨床検査技師国家試験に合格できるよう教授する。また、中間・終講試験を実施し、学則に従い評価をする。 ●鍼灸科 ・入学時（1年）に授業概要の掲載された全学年分のシラバスを配布し説明をおこなう。 ・各学年開始時（4月）に、シラバスを用いて、授業内容の概要を説明している。 ・担当教員は、出席簿に各科目別で授業内容を毎回記入し、シラバスに逸脱していないかのチェックをおこなっている。	
授業計画書の公表方法	大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載 https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
●放射線科 学修成果の評価は試験（筆記・論文・口述・実技・学習報告書等）によって行い、科目ごとに100点満点とし、60点以上を及第点とする。 ●臨床検査科 試験は終講試験（科目により中間試験も）を実施し、学則に従い評価をする。実習については、レポート評価と終講試験を実施後、点数化し、SA（90点以上）、A（80点～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（60点未満）で評価する。 ●鍼灸科 ・各科目の最終講義を試験とし、合格者には単位を認定する。 ・成績不良者には再試験を実施する。 ・生体観察では、テーマごとに実習と、実習に関するレポート提出を課している。 ・レポート評価には、ルーブリック評価を用いて主観的な要素を排除している。 ・一部の実技試験にはOSCEを導入している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
●放射線科 評価については100点を満点とし、60点以上を合格としている。また、進級の判定は各学年で課せられている単位の2/3以上を修得した者を進級とする。 ●臨床検査科 学則に従い試験を実施。100点満点中60点以上で単位修得とし、その総修得単位数を算出、学則に定められた修得単位数の3分の2以上の修得で進級とする。また、修得できていない科目については再試験等実施し単位修得につとめる。 ●鍼灸科 ・進級判定、卒業判定などの成績評価は100点満点中60点を合格とする。 ・実技評価は項目を決めたOSCEで客観的評価を実施している。 また、評価項目については事前に学生に告知している。 ・本校のはりきゅう国家試験合格率が90％程度のため、成績下位25％に面談、補講を実施している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載 https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

●放射線科

3年以上在籍し、教育課程に定める授業科目を履修し、卒業要件を満たす単位を修得した者には卒業が認められる。

●臨床検査科

3年以上在籍し、教育課程に定める授業科目を履修し、卒業要件を満たす単位を修得した者には卒業が認められる。

●鍼灸科

- ・学則に卒業要件を掲載し、総単位数の取得をもって卒業とする。
- ・4月のオリエンテーションで卒業要件を説明する。
- ・学科内教務会議で判定後、学校長の承認を得る。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載
<https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation>

※「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

□客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料(成績の分布を表す資料)

令和6年度

■客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)					
■学科名	放射線科	■学年	1	■学生数	50
■成績の分布					
指標の数値	～50	50 ～60点	60 ～70点	70 ～80点	80点～ 100点
人数	2	1	5	8	34
下位 1／4に該当する人数			12人		
下位 1／4に該当する指標の数値			75.4点以下		

■客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)					
■学科名	臨床検査科	■学年	3	■学生数	35
■成績の分布					
指標の数値	～50	50 ～60点	60 ～70点	70 ～80点	80点～ 100点
人数	0	0	0	8	27
下位 1／4に該当する人数			8人		
下位 1／4に該当する指標の数値			79.0点以下		

■客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100点満点で点数化)					
■学科名	鍼灸科	■学年	2	■学生数	45
■成績の分布					
指標の数値	～50	50 ～60点	60 ～70点	70 ～80点	80点～ 100点
人数	0	0	3	14	28
下位 1／4に該当する人数			11人		
下位 1／4に該当する指標の数値			75.8点以下		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪行岡医療専門学校長柄校
設置者名	学校法人行岡保健衛生学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載 https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation
収支計算書又は損益計算書	大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載 https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation
財産目録	大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載 https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation
事業報告書	大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載 https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation
監事による監査報告（書）	大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載 https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

●放射線科

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	放射線科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3, 300 時間	2, 580 時間	180 時間	540 時間		
			3, 300 時間／113 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
145 人		145 人	0 人	7 人	38 人		45 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業内容は教科内容に記載。前期・後期の二期制で時間割を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 100点満点の試験で60点以上を合格とし、合格者には単位を認定する。
卒業・進級の認定基準

(概要) 各学年で課せられた単位の2/3以上を修得した者を進級とし、3年以上在籍し卒業要件を満たした者は卒業が認められる。
学修支援等
(概要) 図書室の夜間(20時まで)の開放や休暇期間中の教室開放および、休み時間または放課後などの質問の随時受付。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	18人 (67%)	9人 (33%)
(主な就職、業界等) 行岡病院、神戸大学医学部附属病院、奈良県立医科大学附属病院、泉大津急性期メディカルセンター等。			
(就職指導内容) 学生個々の事情に応じた求人情報の紹介をおこなう。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 診療放射線技師国家資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
145人	10人	6.9%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、家庭の事情。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席が目立つ学生について、本人および保護者と早期の段階で連絡を密にとり、面接を行い、その原因や改善策を検討し、対応している。		

●臨床検査科

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	臨床検査科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	3,000 時間	2,280 時間	180 時間	540 時間			
			3,000 時間／113 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
102 人		102 人	0 人	6 人	42 人		48 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画は授業に関わる教員により、方法・内容等を記載し、科目を修得することによって臨床検査技師国家試験に合格できるよう教授する。また、中間・終講試験を実施し、学則に従い評価する。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験は終講試験（科目により中間試験も）を実施し、学則に従い評価をする。 実習については、レポート評価と終講試験を実施後、点数化し、SA（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（60点未満）で評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学則に従い試験を実施し、100点満点中60点以上で単位修得とし、その修得単位数を算出後、学則に定められた修得単位数の3分の2以上の修得で進級とする。また、修得できていない科目については、再試験等を実施し、単位修得につとめる。
学修支援等
（概要） 目標である国家試験合格にむけ、模擬試験を多く実施し、その点数を用いて面接等をおこない、学習の進捗度合いをはかる。不得意科目の学習を個別に支援し、成績向上につなげていく。図書館を午後8時まで開放し個人学習の環境を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	0 人 (0%)	17 人 (89.5%)	2 人 (10.5%)
（主な就職、業界等） 病院、診療所等。			

(就職指導内容) 学生個々の状況を勘案し、求人先からの情報をもとに適切に指導をおこなう。
(主な学修成果(資格・検定等)) 臨床検査技師国家資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102 人	19 人	18.6%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、家庭の事情等。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席が目立つ学生について、本人および保護者と早期の段階で連絡を密にとり、面接を行い、その原因や改善策を検討し、対応している。		

●鍼灸科

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	臨床検査科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼	2,935 時間	1,785 時間	190 時間	960 時間			
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
140 人		140 人	0 人	8 人	28 人		36 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 講義・演習・実習（実技を含む）の方法をとる。 前期・後期の週間時間割をもとに、年間実施時間割を作成する。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 100点満点中、60点以上で合格となる。 評価は筆記試験・実技試験・課題レポート・口頭試験などで実施する。 実技試験は客観的評価（OSCE）で点数化する。 課題レポートの評価はルーブリック評価などを導入している。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 1年次：47単位、2年次：42単位、3年次：38単位の単位数を取得すれば、進級、卒業となる。 各単位を取得できなかった場合は、次年度に再履修となる。（細則に規定） 127単位を取得すれば卒業となる。	
学修支援等	
（概要） あん摩マッサージ指圧師免許、はり師免許、きゅう師免許の各国家試験対策授業、補習授業の実施。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42 人 (100%)	1 人 (2.4%)	37 人 (88.1%)	4 人 (9.5%)
（主な就職、業界等） 訪問マッサージ、訪問鍼灸、鍼灸院、クリニック、介護施設等。			

(就職指導内容) 学内就職説明会、就職希望調査、面接練習、履歴書指導、求人票
(主な学修成果(資格・検定等)) あん摩マッサージ指圧師国家資格、はり師国家資格、きゅう師国家資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
140 人	3 人	2.1%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情、健康上の理由、進路変更、金銭面での不安		
(中退防止・中退者支援のための取組) 面談、出席状況のチェック、成績対策として補講の実施		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
放射線科	300,000 円	600,000 円	480,000 円	実験・実習費、施設整備費
臨床検査科	300,000 円	600,000 円	390,000 円	実験・実習費、施設整備費
鍼灸科	200,000 円	930,000 円	420,000 円	実験・実習費、施設整備費
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 各学科「学校法人行岡保健衛生学園自己評価表」に基づいて、自己評価を実施している。評価項目については、「専修学校における学校評価ガイドライン(文部科学省生涯学習政策局：平成25年3月)」を参照し定めている。 なお、自己評価結果については、大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」で公表している。 https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 各学科「学校法人行岡保健衛生学園自己評価表」に基づいて、自己評価を実施している。評価項目については、「教育理念・目標」、「学校運営」、「教育活動」、「学習成果」、「学生支援」、「教育環境」、「学生の受け入れ状況」、「法令等の遵守」、「社会貢献・地域貢献」、「法人運営・財務」の10項目である。 また、評価委員会については、各学科の専門分野における業界関係者(就職先・実習先施設、業界団体、職能団体職員)、学校運営に関する専門家(学校運営マネジメント)、卒業生より人選している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療機関	2024. 4. 1～2025. 3. 31 (任期更新)	業界関係者(産業界、実習施設)
医療機関、同窓会役員	2024. 4. 1～2025. 3. 31 (任期更新)	業界関係者(産業界、卒業生)
職能団体役員	2024. 4. 1～2025. 3. 31 (任期更新)	業界関係者(産業界、職能団体)
医療機関	2024. 4. 1～2025. 3. 31 (任期更新)	業界関係者(産業界、実習施設)
職能団体役員	2024. 4. 1～2025. 3. 31 (任期更新)	業界関係者(産業界、職能団体)
鍼灸院院長、同窓会役員	2024. 4. 1～2025. 3. 31 (任期更新)	業界関係者(産業界、卒業生)
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載 https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 大阪行岡医療専門学校長柄校ホームページ「情報公開」に掲載 https://yukioka.ac.jp/nagara/accreditation

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H127310001398
学校名（〇〇大学 等）	大阪行岡医療専門学校長柄校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人行岡保健衛生学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		42人（－）	40人（－）	45人（－）
内 訳	第Ⅰ区分	24人	23人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	11人	11人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
区分外（多子世帯）		0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				45人（－）
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	人	人
計	—	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	0人
前半期	0人
後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	—	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	—	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	—	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

設置者名： 学校法人行岡保健衛生学園
学校名： 大阪行岡医療専門学校長柄校

「設置学科」

課程別	学科別	昼夜別	修業年限	入学定員	学級数	総定員
医療専門 課程	放射線科	昼間	3年	50名	1学級	150名
医療専門 課程	臨床検査科	昼間	3年	40名	1学級	120名
医療専門 課程	鍼灸科	昼間	3年	50名	1学級	150名